

郵報新聞
便錦車第1号

東京麻布管崎野田吉太郎
 夫妻あり者日過日より新也
 鉄道寮に住きりクリスア方に
 傭まられたる同雇男寅次郎
 其通及及びつと云ふも聞
 と尋く吉太郎の取のせ一刃を
 手狭く明治八年六月廿日朝
 初めクリスア方駈あかた庭
 前洗濯を仕居たるを見直
 小物も三ツバサ切り伏せか
 己も割眼せしり夫を夫事
 ぶ鳴らる外へ雇をふ出さぬ
 り能いふ

穂千堂記



65
60
55
50
45
40